

③	②			①
空気	イ	B		A
		②	①	
		地上	空	いること。
			つ	どちらも
			ぶ	
			の	
			集	小
			ま	さ
			り	な
			で で きて	水
				の

④	③	②			いき、雲ができる。	①		
イ ↓ オ ↓ エ ↓ ウ ↓ ア	イ	③	②	①		で	れ	地面の温度で
		水	水	ひ		軽くなり、空に	た	あ
		の	じ	や			空気、	
		つ	よ	さ			ふ	た
		ぶ	う	れ			く	た
			気	る			っ	め
					て	ん	ら	

「かいせつ」

(1) 【一】の本文に、「雲は、地面の温度であたためられた
空気が、上っていつてつくられたものです。」とある。

(2) 第四段落の組み立てを考える。

車内があたたかいのに、ガラスがつめたい。

← ガラスの近くの空気がひやされる。

← 空気中の水じょう気から、水のつぶができる。

← 水のつぶがガラスについて、ガラスがくもる。

(3) 第五段落のはじめに、「雲ができる仕組みは、これと
にしています。」とある。「これ」は、こそあど言葉で、前の
段落の内よう(雨の日に車のガラスがくもる仕組み)を指
している。

(4) 大きく分けて、アだけが「水」について書いてあること
に注目する。「水の水」からもくもくした雲ができるの
で、アは、最後になることが分かる。イウオは、第五段
落をよく読んでならべかえる。

③	②	①
①	A	き ----- り ----- の ----- 中
空	エ	
	B	
	イ	
②		に入る体けん。
空気		

「かいせつ」

(1) 第二段落に、「きりの中に入ったことがあるという人は、雲の中の様子を知っていることと、ほぼ同じです。」とある。

つまり、雲の中の様子を見る体けんは、きりの中に入る体けん、ほぼ同じことだと分かる。

(2) 本文に、「雲ときりは、どちらも小さな水のつぶの集まりで、空にあるものを雲、地上にあるものをきり、とよんでいる」とある。

(3) 最後の段落に、「ですから、雲は、空気から生まれるということが分かります。」とある。

⑤	④	③	②		①
エ ↓ ウ ↓ ア ↓ オ ↓ イ	イ	ア	②	①	軽くなる
			温度	上って	

「かいせつ」

(1) 本文に、「空気は、あたためられるとふくらんで軽かるくなります。」とある。

(2) 本文に、「空気は、あたためられるとふくらんで軽くなります。そうすると、風船のように上っていきます。あたためられてふくらみ、まわりより軽くなった空気が上っていくと、空気の温度は下がります。」とある。

(3) 本文に、「これは、車内の空気があたたかいのにガラスがつめたいので、ガラスの近くの空気がひやされることと起こります。」とある。

ここから、車内の空気はあたたかく、ガラスの近くの空気はつめたいことを読み取る。

(4) 雲ができる様子ようすなので、イ「もくもく」があてはまる。

ア：「ちくちく」は、とがった物ものでさす様子。

ウ：「ぱくぱく」は、動物が口を開けたり、物を食べたりする様子。

(5) 大きく分けて、イだけが「水」について書いてあることが手がかりになる。「水のつぶ」からもくもくした雲ができるので、イは、最後さいになることが分かる。

アと、ウう才は、第五段落だいにらくをよく読んでならべかえる。



④	③	②	①
水	⑦	⑦	水
じ	水分	え	の
よ		き	つ
う		体	ぶ
気	①	①	の
	空気中	気	集
		体	ま
			り

「かいせつ」

(1) 本文に、「雲は、水のつぶの集まりからできています。」とある。

(2) 本文に、「しかし、その水は、みなさんが飲んだり、手をあらったりする水とはちがいます。みなさんがいつも見ている水は、えき体です。けれど、空気中にある水は、同じ水でも気体で、水じょう気とよばれています。」とある。

(1) ①は、「水じょう気」でもあてはまるが、問題文に、「三字以内でぬき出そう」とあることに注意する。

(3) 本文に、「これは、せんたく物の水分が、空気中に出ていくからです。」とある。「から」や「の」は、理由を表すときに使う言葉なので、手がかりにするとよい。

(4) 【一】の本文に、「この水じょう気から、雲ができるのです。」とある。水じょう気は、空気中にある水のことです。(1)で答えた、「水のつぶの集まり」を言いかえたものである。



④		③		②	①
①	ア	①	ア	百 度	水
水 じ ょう 気	気	空 気 中 に 出 て い く	水 分		の
	体			っ	
				ぶ	
				の	
				集	
				ま	
				り	

「かいせつ」

(1) 本文に、「雲は、水のつぶの集まりからできています。」とある。

(2) 本文に、「さて、えき体の水は、百度までねつすると気体になります。」とある。

(3) 本文に、「これは、せんたく物の水分が、空気中に出ていくからです。」とある。「から」や「の」は、理由を表すときに使う言葉なので、手がかりにするとよい。

(4) 「」の中の最後の二文に注目して、あてはまる言葉をぬき出す。